

都施設で受け入れ

大島都議被災者から要望聞く

日本共産党の大島よしえ東京都議は17日夜、東日本大震災で都

内に避難してきた被災者の受け入れを始めた東京武道館(東京都足



東京に避難してきた被災者から要望を聞く大島よしえ都議(左から2人目)＝17日、東京都足立区

立区)を訪れ実情を調査し、被災者から要望を聞きました。

大島氏は、都の担当

者から同館での避難者受け入れ体制について「二つの武道場に畳を敷き、900人の受け

入れを予定している。食料は避難者が入れれば手配できるよう要請している」などと説明を受けました。

都によると、この日は午後9時時点で6人が入ったほか、12人を受け入れる予定です。

福島県富岡町の押田竜太郎さん(33)は父の育夫さん(64)、妻の高倉昭さん(62)らと4人で同館に入りました。11日の地震と津波で自宅が崩壊し、同日深夜に3家族11人で町外に避難。避難所を転々とした後、埼玉

県の親族宅に身を寄せましたが、都が避難者に都営住宅を提供する

方針と聞き、都内に来ました。

押田さんは「自分たちの町は地震と津波と原発(事故)の三重苦だ。都内に着くまでガソリンもなく不安だった。家がなくなり、妻や4歳と1歳の子ども、80歳を超えた祖母には大変な避難所生活をさせたくないのので親族に預けている。早く都営住宅に入れるようにしてほしい」と訴えました。

大島氏が「早く都営住宅を提供するよう都に強く要求します。私は足立区選出です。困ったことがあれば何でも言ってください」と励ましました。